

名取川水系渇水対策支部（注意体制）の解除について

仙台河川国道事務所では、名取川水系広瀬川の流況悪化により6月1日14時に名取川水系渇水対策支部（注意体制）を設置し、河川流況の監視強化に努めるとともに、適正な取水管理や渇水時の迅速な対応のため関係機関と情報共有を図ってきましたが、現在の流況と今後の気象予測等を勘案するとともに、当面の水利用及び河川環境に支障が無いものと判断し、本日17時に体制を解除します。

○体制期間中の対応

- ・ 6月3日に名取川水系渇水情報連絡会広瀬川部会を開催。
- ・ 愛宕堰（かんがい用水：仙台市）では、今年この時期の必要水量が約4 m³/sのところ0.5 m³/s減量し、3.5 m³/sの取水を実施。減量により、河川流況によっては末端まで行き届かないことがあるため、頻繁にゲート操作を行い、末端まで行き渡るように努めた。減量取水は現在も継続中。
- ・ 水質監視として、週1回の水質検査（パックテスト）を実施（計4回）。
- ・ 河川巡視を強化し、瀬切れの発生の有無などを把握するため、毎日の定点監視を実施。

<河川の流況：6月23日12時現在>

◆広瀬川 広瀬橋地点

水位 -0.89 m

流量 26.04 m³/s（基準流量：1.0 m³/s）

※基準流量：渇水調整の目安となる流量。

※期間中の最低水位は-1.57 m（流量0.89 m³/s）。

※流況については暫定値であり、確定値ではありません。

発表記者会：宮城県県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

（問い合わせ先）

東北地方整備局 仙台河川国道事務所

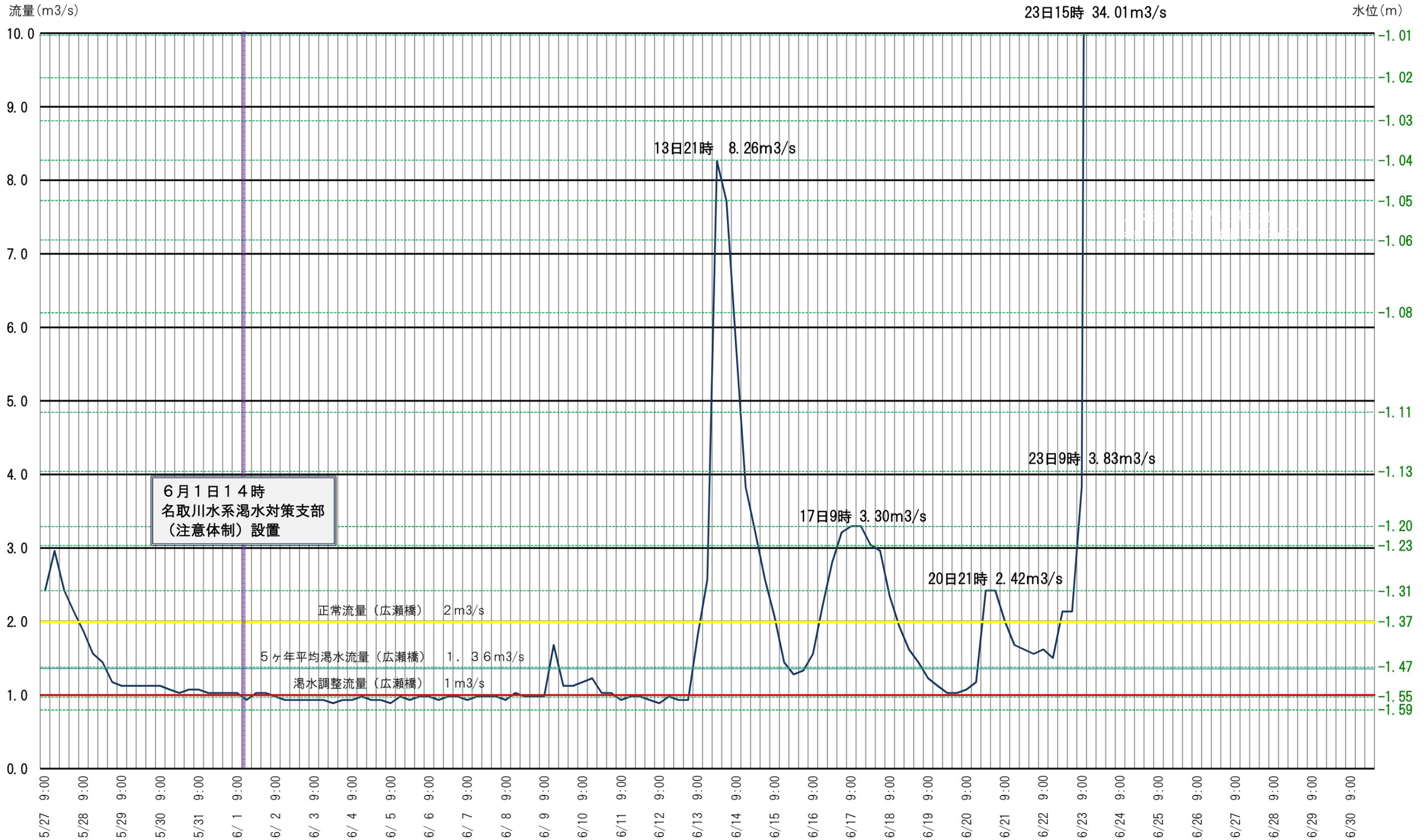
仙台市太白区あすと長町四丁目1-60

電話 022-248-4131（代表）

副所長（河川） 高橋 長幸（内線204）

河川管理課長 渡辺 敏彦（内線331）

平成28年度 名取川水系広瀬川（広瀬橋水位観測所）流況（5月27日～6月23日）



H28年度の広瀬橋下流流況写真比較（湧水注意体制期間中）

※流量は最新H-Q式（暫定式）による。

6月1日15:50 流量 0.93 m³/s



6月23日10:30 流量 9.99 m³/s

